

NPO 宮島ネットワーク
令和6年(2024)8月(令和6年度第1回)月例会議事録

日時 令和6年8月27日(火)午後2時～3時40分
場所 宮島商工会館 2F 会議室

出席者 13名

挨拶 理事長 暑い中(最高36℃予報)、また台風が心配されたが、集まっていただけで感謝。
臨時総会の予定もあり審議事項も多い、ご協力をお願いします。
新しい方もいるので自己紹介を。
・新規会員が自己紹介、挨拶。

1)【臨時総会】定款変更の補遺を議決 14:05～14:15

- ・正会員11人出席、委任状18により、総会成立。
- ・定期総会で変更した定款7ヶ所に追加して、2ヶ所の変更を審議し決議。
- ・以後は広島県へ定款変更の申請、手続を進める。

2) 車椅子ルートマップの作成について

- ア) 貸し車椅子利用者アンケートの状況:資料「貸し車椅子利用者アンケートまとめ」
8ページと、「車椅子アンケート問合せ」を配布
- ・アンケートデータの修正
 - ・完成データは、協力してもらった宮島口観光協会と宮島観光協会へ持参予定。
 - ・PDFにしてNPOのホームページに掲載する。
 - ・他の配布先を検討。

イ) 主なアンケート結果と感想・意見

A) 混雑と車椅子の通行

- ・行かなかった理由では、「人が多かった、混雑がイヤだった」という理由が多く、車椅子利用に遠慮があるよう。人が多くても車椅子が堂々と通れる環境づくりが必要。
- ・商店街など混み合った場所を車椅子で通っていると、欧米系外国人は道を開けてくれる。日本人はタイヤにぶつかっても知らん顔。宮島にくる外国人は民意が高い、日本人の民意を上げるには?
- ・人が多いと車椅子に乗っている人は目線が低く、人垣に囲まれたようになり恐怖を感じる。見通しが悪いと車酔いにもなりやすい。とりあえずは、人が多い時は脇道に逸れるなどの案内を。
- ・車椅子に目印の旗をつけられないか? 人混みでも分かるような高さで、人が少ない所では下げられるように、→2.5m～3m くらいか? →オーストラリアではサイクリング車が、三角の旗を立てて国道を走行している。日本でも見たことが

ある。似たような旗にする？ →向こうから来ている時は旗が見えるが、後ろから車椅子がきている時は効果が無い。

注) 車椅子に旗などをつけられるか、規制があるか？ 要確認。

- ・車椅子を借りようとして身体が入らずあきらめた外国人がいた。→日本の車椅子は横幅 70cm 内と決まっている。通路はそれ以上、カーブなどでは 1m 幅を確保するよう求められている。

B) 道路や通路

- ・海岸通りから神社までの土の地面を車椅子で通ると、左右のわずかな高さの違いで車椅子が左右に揺られる。神社の車椅子用スロープまで、幅 1m の舗装した通路があれば、車椅子が通りやすくなる。
- ・「グレーチングの目が粗い」というのは、水族館から裏へ出るところではないか？ 他にもあるか？

C) 目的地や行きたい希望地

- ・車椅子利用でロープウェイに乗った人がいた。乗り継ぎの石段も経験したようだ。少しは歩ける人だろう。車椅子は乗り場に置いていったのか？
- ・ロープウェイの終点に行ってもほとんど車椅子では動けない。展望もあまり無い。すぐロープウェイで降りてくるだけで、途中の景色を楽しむだけ。その情報も必要か？
- ・車椅子で桃林に行った人は、サクラ目当てだった。通りにくいところが一ヶ所あったが、サクラには満足してもらえた。

D) 利用者

- ・貸し車椅子の利用者は、普段は車椅子を利用していない初心者が多い。初心者向け案内が必要では。

[案内例] 略

→「車椅子を利用される方へ」として、案内所へ紙を置いては？

E) 貸し車椅子について

- ・宮島口にはタイヤの空気圧が計れる空気つぎがある。宮島には？ 無し
- ・手動で空気をつぐには力がある。電動空気つぎなら、指定した空気圧まで空気を入れられる。→5,000 円ほどで電動空気つぎがあるよう。
- ・希望する付属品の一つに「杖ホルダー」がある。1,000 円台から売っているが、どれが使いやすいか分からない。案内所にいくつか寄附して、畳めない杖を持っている人に貸出して試してもらう方法もあるかも。

F) その他

- ・大元公園の公衆トイレには車椅子用が 1 つあるが、女性用は和式が 2 つだけ、床が濡れていることも多く、高齢者には和式はきつい。→あそこは県の管理だったか？ 管理者に具体的に改善希望を言わないと、改善されない。

ウ) 関連する移動手段の車椅子対応

A) フェリーの車椅子対応

- ・松大汽船のフェリー職員は、車椅子の乗り降りに補助をしてくれる。補助の仕方が分かっている。JR フェリーの職員は何もしない。→松大汽船の職員は研修を受けている。
- ・宮島口の案内所職員には、車椅子を借りた人で時間がある人には松大フェリーを勧めると良いと伝えた。

B) メープルバス（8人乗りマイクロバス）：車椅子利用者も、空き席があれば車椅子を畳んで乗れる。包ヶ浦～棧橋～大聖院下～水族館

C) タクシー：車椅子で大聖院へ行くには、タクシーしかない。が、運転手不足で8月から1台しか稼働しておらず、9月末まで火曜・木曜はタクシーがない。今後どうなるか？

D) 人力車：車椅子を畳んで乗せる。紅葉橋までは行く。大聖院の坂は無理。

エ) 関係施設への問合せなど

- A) 大聖院：車椅子利用者が来た場合、案内する施設とか、されている対応方法を直接問い合わせる。
- B) 水族館：館内すべて車椅子で可能かどうか？
- C) ロープウェー：案内や補助、車椅子の置き場など

次回：マップ内容（表面：地図、裏面に掲載する資料：「店舗・ホテル等への車椅子利用者への対応調査」）を検討

3) さくらもみじの会の活動について

- ・10月に紅葉谷の作業を始める。
- ・昨年は夏に雨が少なく、紅葉の色づきが悪かった。今年も雨が降らないので期待は出来ない。
- ・もみじ樹写真展：毎年11月。昨年写真が無いので過去の写真を利用する。

4) アサリ浜の保全について

ア) アオサの繁茂について

- ・例年、暑くなるとアオサが消えて無くなるが、今年は大元川河口から大元沖に残っている。冬のアオサはいったん枯れて、短いアオサが着いている。原因として考えられる一つが、カキの栄養を確保するために宮島と坂町の下水処理場は下水の30%を未処理のまま流しているとの新聞報道があり、それが原因か？ 事実、カキ筏のあたりは、透明度が1.5～2mしかない。
- ・下水の一部を未処理で流しているかどうかをどこに聞けば分かるか？ 下水処理場？ 市の担当課は？
- ・廿日市市が海域の透明度や、水質検査を定期的に測定して発表するべきでは。

イ) 大元公園休憩所の利用

- ・休憩所は環境省の施設。管理を委託されている会から NPO が置いている浜の用具などにクレームが来て、昨日、一日がかりで整理をした。あと 1 年は大丈夫。

5) その他

ア) 紙芝居「誓真さん」

- ・広島町の町内会へ貸し出し。近く返却される予定。

イ) 室浜海岸の清掃

- ・10/27(日)を予定。参加者の送迎ができる人とスタッフを募る。
漁協への協力依頼

ウ) 宮島特産品振興大会作品展示の支援について

- ・期間中の受付スタッフ配置の要請が来ている。1日1人。
- ・11/03(日)～11/04(月)、11/06(水)～11/10(日)の7日間。10:00～16:30(昼休憩の交代は無し)
- ・場所: etto 宮島交流館
- ・近づいたら、出られる人を配置、調整する。